

平成24年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	フリーター等支援事業	担当部局庁	職業安定局 派遣・有期労働対策部	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度	担当課室	企画課 若年者雇用対策室	若年者雇用対策室長			
会計区分	一般会計・労働保険特別会計雇用勘定	施策名	II 13 高齢者・障害者・若年者等労働者の特性に応じ、就労支援や失業の防止を図る				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	雇用保険法第62条第1項第5号	関係する計画、通知等	—				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	正規雇用での就職が困難であるフリーターの出口対策を徹底し、雇用の安定を促進する。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	就職支援ナビゲーターを各都道府県の若者の多いハローワーク等に再配置し、スキルのない若年者に向き合い型による支援を実施するとともに、大都市圏においては、より若者の集約を図るため「わかものハローワーク」を設置(平成24年度においては3都府県に設置)する。なお、わかものハローワークにおいては、スキルのない若年者を中心に自分の将来にわたってのキャリア形成、能力開発等の必要がある35歳未満の若年者(主に20代)すべてを対象に支援を実施し、就職氷河期世代を念頭とした35歳から44歳までの不安定就労者については、キャリアアップハローワークにフリーター支援コーナー(仮称)を設置し、就職支援ナビゲーターを配置することにより向き合い型による支援を実施する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求
		補正予算					
		繰越し等					
		計					2,011
	執行額						
	執行率(%)						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(23年度)
	予算変性過程において検討	成果実績	人	-	-	-	-
		達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	—	活動実績 (当初見込み)	人	-	-	-	-
				-	-	-	-
単位当たりコスト	—	算出根拠	—				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	相談員経費(一般)		559				
	管理経費(一般)		239				
	事業費(一般)		6				
	相談員経費(雇用)		839				
	管理経費(雇用)		359				
	事業費(雇用)		9				
	計		2,011				

※端数処理の関係で、上記予算額と内訳の合計は一致しない。

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	—	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	—	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>広く国民のニーズがある事業であり、効率的かつ効果的な事業の実施のため、執行を適正に管理する必要がある。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
—	<p>本事業は、フリーター（特に年長フリーター等）からの出口対策を徹底する必要があるため、就職支援ナビゲーターを各都道府県の若者の多いハローワーク等に再配置し、スキルのない若年者に向き合い型による支援を実施するとともに、大都市圏においては、より若者の集約を図るため「わかものハローワーク」を設置（平成24年度においては3都府県に設置）し、スキルのない若年者を中心に自分の将来にわたってのキャリア形成、能力開発等の必要がある35歳未満の若年者（主に20代）すべてを対象に支援を実施するための経費であり、事業目的の妥当性や重要性の観点から優先度が高い事業である。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）			
—			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			

国

厚生労働省
2,011百万円



【予算示達】

都道府県労働局(47局)
2,011百万円

就職支援ナビゲーター
の配置等

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)